

財政援助団体等監査

財政援助団体等監査

第 1 監査の範囲

I 監査の期間

実 態 調 査 平成 2 9 年 5 月 2 5 日から 6 月 1 2 日まで
(市から財政援助があり、市に事務局を置く任意団体)

所管課書面監査 平成 2 9 年 1 1 月 8 日

団体実地監査 平成 2 9 年 1 1 月 9 日、1 0 日

II 監査の対象

平成 2 8 年度において市が補助金、交付金等の財政的援助を与えているもののうち、市に事務局を置く任意団体について、実態調査を行ったほか、下記により団体を抽出し、出納その他事務の執行で当該財政的援助に係るものについて、所管課及び補助団体等を対象に次のとおり監査を実施した。

対 象 団 体 名	補 助 金 の 名 称	交 付 額 (円)	所 管 課 名
黒 沢 自 主 防 災 会	自主防災組織育成事業補助金	750,000	総 務 課
荒 町 自 治 会	自治会館建設事業費補助金	1,000,000	市民共動課
下 堰 向 自 治 会		1,000,000	
社 会 福 祉 法 人 鹿角市社会福祉協議会	社会福祉協議会補助金	12,610,000	福 祉 課
S K フ ェ ー ム 株 式 会 社	かづの農業夢プラン応援事業補助金	2,090,000	農 林 課
山 口 電 機 工 業 株 式 会 社 秋 田 工 場	企業立地助成金	10,000,000	産業活力課
花 輪 ば や し 祭 典 委 員 会	祭典事業費補助金	4,100,000	
浅 利 純 子 杯 争 奪 鹿角駅伝実行委員会	鹿角駅伝大会補助金	1,575,000	スポーツ振興課

Ⅲ 監査の観点

所管部局及び財政援助団体等について、次の事項を主眼に実施した。

- 1 補助金等の目的が明確で、決定は条例、規則等に基づいているか。
- 2 補助金等の交付方法、時期、手続等は適正か。
- 3 補助金等の効果及び条件の履行を確認し、指導監督が適切に行われているか。
- 4 補助事業は、計画及び交付条件に従って実施され、効果が上げられているか。
- 5 補助金等に係わる会計処理は適切に行われているか。
- 6 内部統制が適切に機能しているか。

第 2 監査の方法

実態調査は、全部局へ調査票の設問への回答を求め、その集計及び分析を行った。

書面監査及び実地監査は、所管部局にあらかじめ提出を求めた監査資料に基づいて担当職員の説明を受け、質問その他の手法により実施した。また、財政援助団体の関係者から補助の効果や団体の経営状況等の説明を得るとともに、補助事業等の実地監査を行った。

第 3 監査の結果

1 補助対象団体への指導について

団体等への補助金交付事務については、おおむね適正に処理されていたが、一部の課において、補助金申請書類の金額と、添付された見積書の金額との整合がとれていない、書類の記載が正確でないものが見受けられた。

補助対象事業については、その事業内容、価格の有利性、実施時期などを調査確認し、指導や調整を行うとともに、書類上の錯誤に対しても適切な指導を行うよう努めていただきたい。

また、補助により単に物品や資産を整備するだけでなく、市民によって十分活用され、補助金の交付目的が達成されるよう努めること。

2 任意団体の事務について

市に事務局を置く任意団体で、市から財政援助（ここでは補助金、負担金に加えて委託料も含む。）のあるものについて、補助金交付決定事務を担当する職員が、一方では任意団体の事務局として補助金申請及び収支も担当するなど、チェック機能が働きにくくなっているものが見られた。

各任意団体については、設置の主旨や経緯、活動内容から見て、おおむね事務局を市に設置する妥当性が認められるものであったが、市の財政援助を受けて独自の運営を行う性質上、透明性の確保や、団体への指導や点検が不十分とならないような仕組みが必要と考えられる。

管理監督者は、任意団体の収支事務を取扱う際の複数人による確認や、適切な事務決裁の手順を徹底し、また現金の長期間の保管を避けるなど、不正を防止し、疑義を持たれない体制づくりに努められたい。支出事務においては、請求書その他の書類を確認して支出伺いのため決裁を行うほか、支払い後には領収書等の証拠書類の確認を行うといった、遺漏のないチェック体制を整備されたい。

○実態調査概要報告

市から財政援助があり、市に事務局を置く任意団体について

(任意団体の事務取扱い状況)

全部局を対象に行った調査によると、平成29年3月末日現在で、市に事務局を置き、市職員が事務を取扱っている任意団体が「ある」と回答した課は10課で、合計27の団体の事務を取扱っていた。

このうち、市から補助金の交付を受けているものが10団体、負担金又は会費を受けているものが9団体、また市の業務を受託しているものが3団体で、これらを合計し22の団体が市からの財政援助を受けていた。

取扱う任意 団体の数	市から財政援助のあるもの			市から財政援助 のないもの
	補助金	負担金、会費	委託料	
27	10	9	3	5 (※)

※財政援助のない5団体のうち、2団体は会計事務の取扱いがあり、通帳を管理している

(事務局設置の理由)

22の財政援助を受ける団体が事務局を市に置く主な理由については、概して次表のとおり区分される。

各任意団体については、設置の主旨や経緯、活動内容から見て、事務局を市に設置する妥当性が認められるものと判断された。

課・室名	団体名	事務局を置く 主な理由(※1)
財 政 課	秋田県国土調査推進協議会 (※2)	C
市 民 共 動 課	鹿角市防犯協会	C
	鹿角市快適環境まちづくり市民会議	A
農 林 課	鹿角地域農業再生協議会	A
	鹿角そばの里づくり推進協議会	A
	かづの牛振興協議会	A
	鹿角地域重金属汚染防止対策協議会	A
	鹿角市猟友会	D
	鹿角市都市農村交流事業実行委員会食の交流まつり部会	A
	鹿角市農業農村支援機構	A

産 業 活 力 課	八幡平ビジターセンター運営協議会	C
	鹿角市都市農村交流事業実行委員会	A
上 下 水 道 課	米代川流域下水道鹿角処理区普及促進協議会	A
生 涯 学 習 課	青少年育成鹿角市民会議	A
スポーツ振興課	浅利純子杯争奪鹿角駅伝実行委員会	B
	十和田八幡平駅伝競走全国大会委員会	B
	サマーノルディックスキーまちづくり推進委員会	B
	第 68 回県民体育大会冬季大会スキー競技会鹿角市実行委員会	B
	秋田 2 5 市町村対抗駅伝鹿角市参加準備委員会	B
	ねんりんピック秋田 2 0 1 7 鹿角市実行委員会	B
	岩泉杯・松橋杯争奪ジャンプ大会兼秋田県スポーツ少年団競技別スキー交流会鹿角市実行委員会	B
	チャレンジデー鹿角市実行委員会	B

※1 A：施策の推進にあたり、関連する事業の実施などを目的に市が関与して設立された団体で、施策推進の補完的役割を果たすもの

B：イベント実施にあたり、行政と関係機関との連携協力体制により目的を達成するための手段として、行政主導で実行委員会を組織したもの

C：国、県等と調整した経緯により市に事務局が置かれたもの、又は自治体間の連絡調整、連携事業

D：民間から市へと事務局が移管されたもので、市からの依頼による業務が多く、人的支援が必要なもの

※2 市は会計事務のみを取扱い、事務局は県に置かれている

任意団体及び事務局の設置については、これまでも検討され現在に至っているものと解されるが、引き続き市の関与のあり方を検討し、新たに任意団体や事務局を設置する場合においても、合理的な理由がある場合に限るよう管理体制が望まれる。

また、事務局設置の際の必要な手続きについても、統一的に実施されたい。

(任意団体への財政援助額と収支決算額)

市に事務局を置く 22 の任意団体への財政援助（委託料を含む）の額と団体の平成 28 年度収支決算額については次表のとおりである。

(単位：千円)

	補助金、負担金等の名称	財政援助の額	団体の決算額		
			収入	支出	次年度繰越
補助金	快適環境まちづくり市民会議補助金	380	622	532	90
	経営所得安定対策等推進事業費補助金	3,450	4,669	4,669	0
	青少年育成鹿角市民会議補助金	158	380	334	46
	鹿角駅伝大会補助金	1,575	1,798	1,798	0
	十和田八幡平駅伝競走全国大会補助金	1,400	2,772	2,772	0
	サマーノディックスキーまちづくり推進委員会補助金	4,700	6,068	6,068	0
	県民体育大会冬季大会スキー競技会補助金	1,100	2,584	2,584	0
	全県駅伝大会派遣費補助金	238	238	238	0
	全国健康福祉祭あきた大会開催準備事業補助金	1,066	1,896	1,896	0
	岩泉・松橋杯ジャンプ大会補助金	138	245	245	0
負担金	秋田県国土調査推進協議会会費	86	1,729	884	845
	鹿角市防犯協会負担金	559	930	788	142
	鹿角そばの里づくり推進協議会負担金	750	1,130	1,025	105
	かづの牛振興協議会負担金	100	334	334	0
	鹿角市都市農村交流事業実行委員会負担金	843	1,345	1,329	16
	農業農村支援機構運営費負担金	6,138	10,612	9,151	1,461
	八幡平ビジターセンター運営協議会負担金	1,509	3,217	2,934	283
	鹿角市都市農村交流事業実行委員会負担金	712	1,247	1,023	224
	米代川流域下水道鹿角処理区普及促進協議会負担金	81	344	229	115
委託料	(業務委託) 湛水管理業務	1,252	1,509	1,509	0
	(業務委託) 有害鳥獣駆除・猟政業務	5,562	5,886	5,886	0
	(業務委託) チャレンジデー業務	660	660	660	0
		32,457	50,215	46,888	3,327

財政援助の額については、おおむね適切な額が算定されていると判断されたが、負担金を支出する任意団体において次年度繰越額が負担金額を上回るものが2件あった。

なお、いずれの任意団体においても規約・会則等が整備され、監査の規定があり、決算については監事監査を経て、総会で承認を受けていた。

(事務処理体制及び決裁について)

22の任意団体について、事務従事者の状況及び決裁者の確認の状況を尋ねた結果は、次のとおりであった。

市の補助金等交付事務と、団体の補助金等申請事務を取扱う職員が同一職員である	18 団体
市の補助金等交付事務と、団体の補助金等申請事務を取扱う職員が同一職員ではない	4 団体

① 決裁者は、支出決定時のみ確認（決裁）している	6 団体
② 決裁者は、支払後のみ（領収書等）確認している	8 団体
③ ①、②とも確認している	8 団体

決裁者は、定期的に出納簿及び預金通帳を照合確認している	10 団体
決裁者は、定期的に出納簿及び預金通帳を照合確認していない	12 団体

団体の収入・支出事務処理は、選任された起票者、決裁者によりおおむね適切に行われていたが、①支出決定時、請求書等を添えて決裁を受けるほか、②支出後に領収書又は振込受付書等の証拠書類を添付して支払いを確認する、といった遺漏のない確認体制が望まれる。

また、決裁者が予算、出納簿、預金通帳を定期的に照合するなど、事務の遅延や失念を防止する体制づくりに努めていただきたい。

（まとめ）

市に事務局を置く任意団体が実施する事業は、公務と同等の公共性、公益性があり、市の施策、事業と密接に関係しており、市との連携により円滑な運営が確保されていた。また、いずれの団体においても監事監査が実施され、会計経理事務はおおむね良好に処理されていた。

任意団体の事務を市職員が業務の一環として取扱うことは、事務処理における簡便性など利点がある半面、市とは異なる組織であることが外部から認識されにくく、内部においても、市の業務と混然として実施されるなど分かりにくい面があるほか、独自の運営のため、会計経理が安易に処理されやすい、団体としての物品や通帳・印鑑等の管理のリスクもある。このことを十分認識した上で、市においては、任意団体の事務局を取扱う場合の手続き、事務分担、団体への点検や指導等について留意し、また、任意団体の事務局としては、厳正なチェック体制を構築し適切な事務処理に努められたい。

○団体別の事業実施状況等

黒沢自主防災会

- 1 補助金の名称 自主防災組織育成事業補助金（自主防災用資機材等整備事業）
- 2 交 付 額 750,000円
- 3 交 付 年 月 日 平成29年 3月17日（概算払）
平成29年 4月19日（精算払）
- 4 交 付 目 的 自主防災組織が行う災害の被害防止活動及び軽減活動に必要な資機材の整備及び訓練等に要する経費を支援することにより、地域の防災力を高める。
- 5 交 付 の 根 拠 鹿角市自主防災組織育成事業補助金交付要綱
- 6 事 業 実 績
 - （1）事業の概要 平成29年4月2日に消防署の指導の下、資機材の取扱い訓練を実施しており、災害時に活用できるよう、地域住民の防災意識の高揚と技術向上が図られた。
 - （2）収支決算の状況

自主防災用資機材等整備事業

（収入の部）

（単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
市 補 助 金	750,000	鹿角市
自 己 資 金	6,000	
計	756,000	

（支出の部）

（単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
備 品 購 入 費	756,000	資機材倉庫ほか9品目
計	756,000	

荒町自治会

- 1 補助金の名称 自治会館建設事業費補助金（改修事業）
- 2 交 付 額 1, 0 0 0, 0 0 0 円
- 3 交 付 年 月 日 平成 2 8 年 4 月 2 0 日（概算払）
平成 2 8 年 7 月 4 日（精算払）
- 4 交 付 目 的 老朽化した自治会館を改修することにより、コミュニティ活動の拠点となる施設の安全性及び利便性の向上を図るとともに、自治会活動の活性化に寄与することを目的とする。
- 5 交 付 の 根 拠 鹿角市自治会館建設事業費補助金交付要綱
- 6 事 業 実 績

（１）事業の概要 屋根及び軒天、トイレを改修したことにより、施設の安全性及び利便性が向上し、自治会活動の活性化に寄与した。

（２）収支決算の状況

自主防災用資機材等整備事業

（収入の部）

（単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
市 補 助 金	1, 000, 000	鹿角市
自 己 資 金	1, 195, 637	
計	2, 195, 637	

（支出の部）

（単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
自 治 会 館 改 修 事 業 費	2, 195, 637	屋根塗装工事ほか
計	2, 195, 637	

下堰向自治会

- 1 補助金の名称 自治会館建設事業費補助金（改修事業）
- 2 交 付 額 1, 0 0 0, 0 0 0 円
- 3 交 付 年 月 日 平成 2 8 年 1 2 月 9 日
- 4 交 付 目 的 老朽化した自治会館を改修することにより、コミュニティ活動の拠点となる施設の安全性及び利便性の向上を図るとともに、自治会活動の活性化に寄与することを目的とする。
- 5 交 付 の 根 拠 鹿角市自治会館建設事業費補助金交付要綱
- 6 事 業 実 績
 - （１）事業の概要 屋根改修及び外壁補修により、施設の安全性が向上し長寿命化が図られたとともに、近隣への落雪被害の防止に寄与することができ、自治会活動への負担軽減に繋がった。
 - （２）収支決算の状況

（収入の部） （単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
市 補 助 金	1, 000, 000	鹿角市
自 己 資 金	2, 760, 000	
計	3, 760, 000	

（支出の部） （単位：円）

項 目	決 算 額	備 考
自 治 会 館 改 修 事 業 費	3, 760, 000	屋根替え工事ほか
計	3, 760, 000	

社会福祉法人 鹿角市社会福祉協議会

- 1 補助金の名称 社会福祉協議会補助金
- 2 交 付 額 12,610,000円
- 3 交付年月日 平成28年 8月 3日 (概算払)
平成29年 4月25日 (精算払)
- 4 交 付 目 的 地域福祉の担い手である鹿角市社会福祉協議会の経営の安定化を図り、地域福祉の推進を図ることを目的とする。
- 5 交付の根拠 鹿角市社会福祉法人の助成に関する条例
鹿角市社会福祉法人の助成に関する条例施行規則
鹿角市社会福祉協議会補助金交付要綱
- 6 事業実績
 - (1) 事業の概要 運営基盤の安定強化が図られ、自治会、ボランティア団体及び福祉関係者等との連携による地域福祉活動が実施、推進された。
 - (2) 算出基礎 事務局職員に係る人件費のうち予算の範囲内
 - ・常勤職員 5名 人件費の55%
 - ・非常勤職員(事務局長) 1名 人件費の1/2の55%
 - ・臨時職員 1名 実額または市の臨時職員の賃金の低い方

S Kファーム 株式会社

- | | | |
|-----|-----------|--|
| 1 | 補助金の名称 | かづの農業夢プラン応援事業費補助金
(農業経営発展加速化支援事業) |
| 2 | 交 付 額 | 2, 0 9 0, 0 0 0 円 |
| 3 | 交 付 年 月 日 | 平成 2 8 年 8 月 2 6 日 |
| 4 | 交 付 目 的 | 経営規模の拡大や農作業の効率化に資する機械の導入費用を支援することで、地域農業の担い手の育成と農地集積の促進に資する。 |
| 5 | 交 付 の 根 拠 | かづの農業夢プラン応援事業費補助金交付要綱 |
| 6 | 事 業 実 績 | |
| (1) | 事業の概要 | 大豆の栽培管理に必要な機械を導入したことで、品質と収量の高位安定化につなげることが可能となった。 |
| (2) | 団 体 概 要 | <div> <div>所 在 地</div> <div>青森県つがる市木造筒木坂鳥谷沢 1 5 番地 8 8
(鹿角支店 鹿角市十和田大湯字戸倉 1 3 番地)</div> </div> <div> <div>設 立</div> <div>昭和 6 0 年</div> </div> <div> <div>資 本 金</div> <div>3, 0 0 0 万円</div> </div> <div> <div>事業内容</div> <div>農業の経営</div> </div> |
| (3) | 算 出 基 礎 | 補助対象経費(消費税抜)の2分の1以内
<div>① 1, 9 5 0, 0 0 0 円 $\times 1/2 = 9 7 5, 0 0 0$ 円</div> <div>② 2, 2 3 0, 0 0 0 円 $\times 1/2 = 1, 1 1 5, 0 0 0$ 円</div> |
| (4) | 整 備 内 容 | <div>① シードドリル(リンゲージ込) 1 台</div> <div>② マキシロール(クラッカーボード付) 1 台</div> |

山口電機工業株式会社 秋田工場

- 1 補助金の名称 企業立地助成金（施設整備助成金）
- 2 交 付 額 10,000,000円
- 3 交付年月日 平成29年 3月29日
- 4 交 付 目 的 市内における企業の立地促進を図るため必要な奨励措置を講ずることにより、市の産業の振興と雇用機会の拡大を図る。
- 5 交付の根拠 鹿角市企業立地促進条例
鹿角市企業立地促進条例施行規則
- 6 事業実績
 - (1) 事業の概要 施設整備にかかる負担を軽減することで円滑な設備投資が図られ、産業振興と雇用の創出に繋がった。
 - (2) 団体概要 所在地 鹿角市尾去沢字長淵4番地1
設 立 昭和21年
資本金 3,900万円
事業内容 自動車電装品製造
 - (3) 算出基礎
施設整備助成金（投下固定資産）

指定事業者として指定のあった日から操業後6月を経過する日までの設備投資額の10分の3に相当する額（上限1千万円）

$$33,578,800円 \times 3 / 10 = 10,073,640円$$
$$\rightarrow 10,000,000円（上限額）$$
 - (4) 整備内容
設備機械導入 イグニッションコイル製造ライン等の増設

花輪ばやし祭典委員会

- 1 補助金の名称 祭典事業費補助金
- 2 交 付 額 4, 1 0 0, 0 0 0 円
- 3 交 付 年 月 日 平成 2 8 年 4 月 2 0 日 (概算払)
平成 2 9 年 1 月 1 6 日 (精算払)
- 4 交 付 目 的 花輪祭典に係る円滑な運営と祭典時の運行実施を図るための交通規制、場内整理、地域住民はじめ観光客を楽しませるための露店の設置・運営を行うほか、誘客のための宣伝や市外での花輪ばやしの披露を行う。また、花輪ばやしの笛・三味線の練習会を開催し、後継者の育成と町内以外からの参加者の増加を図る。
- 5 交 付 の 根 拠 鹿角市観光関係補助金交付要綱
- 6 事 業 実 績
 - (1) 事業の概要 観光振興、地域活性化に寄与し、花輪ばやしの保存伝承が図られた。
 - (2) 収支決算の状況

(収入の部)		(単位：円)
項 目	決 算 額	備 考
市 補 助 金	4, 100, 000	鹿角市
協 賛 金 収 入	2, 641, 800	
自 己 資 金	14, 745, 254	
計	21, 487, 054	

(支出の部)

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
祭典運営事業	2,871,756	駅前行事、審査会運営
施 設 交 通 対 策 事 業	3,593,397	仮設電気、交通規制関係
観光宣伝事業	8,893,055	ポスター、パンフレット作成ほか
保存育成事業	2,128,845	講習会、備品修理
事 務 費	3,960,760	事務消耗品、通信費ほか
繰 越 金	39,241	
計	21,487,054	

浅利純子杯争奪鹿角駅伝実行委員会

- 1 補助金の名称 鹿角駅伝大会補助金
- 2 交 付 額 1, 5 7 5, 0 0 0 円
- 3 交 付 年 月 日 平成 2 8 年 6 月 1 0 日 (概算払)
平成 2 8 年 9 月 2 3 日 (精算払)
- 4 交 付 目 的 「スキーと駅伝のまち・鹿角」の実現に向け、本市出身のマラソン選手である浅利純子氏の功績を記念する駅伝大会の開催により、ジュニア世代の駅伝競技力向上及び駅伝競技を通じた地域振興を図る。
- 5 交 付 の 根 拠 鹿角市スポーツ大会開催補助金交付要綱
- 6 事 業 実 績

- (1) 事業の概要 第 10 回大会を迎え、北東北 3 県より過去最高となる 81 チームの参加があった。中学校男子の部では花輪第一中学校が優勝したほか、多数の地元チームの参加があり、ジュニア選手の底辺拡大や競技力向上につながっている。会場となる花輪商店街には、大会関係者のほか多くの地元住民も応援のため来場しており、地域振興に寄与している。

(2) 収支決算の状況

(収入の部)

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
市 補 助 金	1, 575, 000	鹿角市
参 加 料	164, 000	
雑 収 入	58, 500	プログラム販売ほか
計	1, 797, 500	

(支出の部)

(単位：円)

項 目	決 算 額	備 考
報 償 費	598,299	
需 用 費	802,787	
役 務 費	51,134	
委 託 料	308,880	
使用料及び賃借料	36,400	
計	1,797,500	